

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	地域・在宅援助論Ⅳ(健康生活援助論)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年教室
担当教員	戸板宏一郎、坂本万理、川崎文恵、北村明美、前田美和、山根綾香、三浦純子、日下部麻美	実務経験と その関連資格	医療機関で看護師としての臨床経験、訪問看護ステーションの訪問看護師として豊かな経験を有す			
《授業科目における学習内容》						
地域で療養する小児・成人・精神・高齢者療養者の状況に応じた在宅看護活動の実際を学ぶとともに、紙上事例を通して在宅における療養者とその家族の生活上の課題を検討し、在宅看護の視点と援助の方向性を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
提出物、筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
地域療養を支えるケア(メディカ出版) 在宅療養を支える技術(メディカ出版)						
《授業外における学習方法》						
疾患と看護、医療的な援助技術について、関連する学習内容を復習しておく						
《履修に当たっての留意点》						
紙上事例療養者への支援をグループで検討し、発表します。協力して進めましょう						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ストーマ管理の療養者に対して訪問看護の援助内容、方法を考え、学内で実施する内容を計画できる。	テキスト・参考書	履修概要を事前に確認する 既習の医療的ケアの技術を事前に学習する	
		各コマにおける授業予定	状況に応じたストーマ管理の援助について観察、食事、清潔、排せつ、ストーマ交換を中心に学習する。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	ストーマ管理の療養者に対して訪問看護の援助内容、方法を考え、学内で実施することができる。②	テキスト・参考書	既習の医療的ケアの技術を事前に学習する	
		各コマにおける授業予定	ストーマ管理の療養者の事例について、必要な援助を計画に基づいて実施する。			
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	ストーマ管理の療養者に対して訪問看護の援助内容、方法を考え、学内で実施することができる。③	テキスト・参考書	個人ワークをもとにグループワークを行うため、積極的な学習が求められる。	
		各コマにおける授業予定	学内演習で行った援助をもとに、			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神疾患の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる	テキスト・参考書	個人ワークをもとにグループワークを行うため、積極的な学習が求められる。	
		各コマにおける授業予定	1.在宅で生活する精神疾患の療養者の現状と支援を学ぶ(担当:戸板)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神疾患の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる	テキスト・参考書	既習の障害者に関する法律を学習する	
		各コマにおける授業予定	1.在宅で生活する精神疾患の療養者の現状と支援を学ぶ(担当:戸板)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	終末期の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる。①	テキスト・参考書	既習の高齢者施策を学習する
		各コマに おける 授業予定	がん末期の療養者の援助(疼痛管理、安楽)、家族への支援について学習する。		
第7回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	終末期の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる。②	テキスト・参考書	個人ワークをもとにグループワークを行うため、積極的な学習が求められる。
		各コマに おける 授業予定	がん末期の療養者への援助、家族支援について援助計画の実際について学習する。		
第8回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	在宅で暮らす重症心身障害児の援助について理解することができる。①	テキスト・参考書	個人ワークをもとにグループワークを行うため、積極的な学習が求められる。
		各コマに おける 授業予定	重症心身障害児の特徴と、援助内容、方法について学習する。		
第9回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	在宅で暮らす重症心身障害児の援助について理解することができる。②	テキスト・参考書	既習の疾患について学習する
		各コマに おける 授業予定	重症心身障害児の特徴と、援助内容、方法、技術の実際について学習する。		
第10回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	地域包括ケアシステムと地域医療連携が理解できる	テキスト・参考書	既習の疾患について学習する
		各コマに おける 授業予定	1.地域包括ケアシステムにおける病院の役割を学ぶ 2.退院支援と退院調整、退院支援に携わる看護師の活動を学ぶ (担当:北村)		
第11回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	病院における継続看護とその方法が理解できる	テキスト・参考書	既習の疾患について学習する
		各コマに おける 授業予定	1.病院における継続看護や多職種連携について、実際の取り組みもとに学ぶ (担当:北村)		
第12回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	病棟看護師が関わる退院支援・退院調整の実際が理解できる	テキスト・参考書	事前に発表資料を読む てくる
		各コマに おける 授業予定	1.病棟看護師が関わる退院支援・退院調整の実際を学ぶ (担当:前田)		
第13回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	神経難病の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる	テキスト・参考書	事前に発表資料を読む てくる
		各コマに おける 授業予定	1.在宅で生活する神経難病の療養者の現状と支援を学ぶ (担当:川崎)		
第14回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	小児の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる	テキスト・参考書	事前に発表資料を読む てくる
		各コマに おける 授業予定	1.在宅で療養する小児と家族の現状と支援を学ぶ (担当:坂本)		
第15回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	終末期の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる	テキスト・参考書	テキストを読んでくる
		各コマに おける 授業予定	1.在宅で終末期を迎える療養者の現状と支援を学ぶ (担当:山根)		